

校長室
だより

思い合いの心で
おみつき
みんなが笑顔

通信

平成 31 年 4 月 26 日
麻績村立麻績小学校
No. 5

ようこそ麻績小学校へ「1年生を迎える会」

24日(水)「1年生を迎える会」が催されました。心のこもった発表の贈り物がありました。

2年生は「くちびるたいそう」の音読と校歌の斉唱、そして手作りの遊び道具のプレゼントでした。「校歌の難しい言葉は、今度1年生の教室に教えに行きます」という発表に、お兄さんお姉さんになった2年生の意気込みが感じられました。

3年生は、「1年生になったら」の替え歌の中で、〇×クイズを出題しました。「友だち100人できる」「宿題は全部できる」「きれいな字を書ける」どの



の問いにも1年生全員が「〇」と答えていました。優しい気持ちで1年生のやる気を引き出してくれる工夫がされていました。1年生の皆さんは、これからきっとどれもが実現する

ようにがんばってくれることでしょう。

4年生は、自分たちが今までコツコツ取り組んできた、毎朝のマラソンについて教えてくれました。「長野県1周」から始まり、「日本」「世界」そして「月1周」のカードにも挑戦できることを紹介してくれました。4年生の皆さんが1年生の時には、「月」カードまで走った友だちが2人もいたことを思い起こさせてくれました。自分たちが頑張ってきたことへの自信に裏付けられた発表でした。



5年生は、「学校〇×クイズ」に劇を交えて、麻績小学校の大切にしていることを発表しました。「もとの場所に本の返すこと」「時間いっぱい取り組む掃除」「廊下は歩く」「授業中に私語を慎む」「体育館を使える時間」「給食の感謝」など。「分からないことがあったら何でもきいてください」

「分からないことがあったら何でもきいてください」

という呼びかけに、5年生としての責任感の育ちを感じました。頼もしい。

そして、6年生には感謝の気持ちで一杯です。昨年度末に児童会を引き継いで以来、本当に忙しい日々を過ごしてきました。それぞれが複数の役割を掛けもちで進めてくる中で、今日の「迎える会」の進行も全てが堂々としていて立派でした。贈り物の発表には「ジャイアン」や「スネ夫」といったお馴染みのキャラクターに扮した6年生が登場したのですが、恥ずかしがることなく「役者」に徹して、1年生も大喜び。全校の皆さんを笑わせて楽しませてくれました。この明るさ、この自信。さすが6年生だと感じさせられました。この会



をとおして、また一步、麻績小学校の「顔」として、そして「屋台骨」としてその存在の大きさを感じさせてもらいました。

1年生の発表は、「やっぱり1年生」。かわいらしく、でも素敵な『さんぽ』の曲、動作化も加えての歌を発表しました。



心がぽかぽか温かくなり、麻績小学校の誰

もが1年生が加わったことを心から嬉しく思っていることが伝わる会になりました。全校の皆さんが、この日のために心を込めて準備をして、贈り物を交換できて、今年もすばらしいスタートの会となりました。ありがとう。

連休を前にした「職員の心配ごと」

「あれ、怖いよね」「怖い、本当に怖い」職員室でしきりと話題になっているのが、「キックボード」（スクーター）という、子どもさんに人気の出てきた乗り物です。ブレーキをはじめとする保安部品がほぼ備わっていないため、もちろん公道では乗れません。しかし、路上で子どもの乗る姿を見かけることもあります。学校に来て乗っている子も、急な斜面を下ったり、ものすごい勢いでキックして加速したり。車輪の直径がとても小さいので、路面のわずかな凹凸にもバランスを崩しやすく、前のめりに転倒して大切な頭、弱い顔面、さらに上半身などへの大けがが予測されます。見ている側の身が縮む思いがします。もちろん、その場で乗り方の注意を促してはいますが、職員の見えないところでも乗っているであろう子どもさんの姿を思い浮かべると心配でなりません。明日からの連休中、ぜひ、子どもさんの「キックボード」の乗り方を、親御さんにも実際に見ていただきたいです。一番に子どもさん自身が悲しい思いをすることがないように、ご家庭でも「乗り方・遊び方」についてともに考え合っただけけるよう、お願いします。誰もが元気で連休明けに登校してくれることを願ってのお願いです。

